

派遣報告書

平成24年8月17日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会
(代表) 議員

坂井 徹 

次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

記

1 派遣期間	平成24年8月6日(月)から平成24年8月8日(水)まで
2 派遣先	根室市。釧路市。帯広市。
3 視察(調査)議員名	坂井 徹
4 面会者	西田悟、早竹誠一、加藤帝氏 他
5 派遣目的	視察報告書に詳細記述
6 視察の経過及び感想	別添報告書の通り
7 添付書類	(1) _____ (2) _____

要した経費： / 人合計 155,710 円

24年8月6日(月)

視察先: 根室市

目的: 北方領土問題の刻情把握と今後の対応について

現地説明者: 根室市北方領土対策課 西田 悟氏 他

感想: 事は国の存立と主権にかかわる問題であり決して他人事、傍観者の立場に
いては存らぬと強く思った。

その為にも 今の日本人が北方領土の「史」を学び、日本の領土でありながら
何故ロシアに不況と現況と現状が動かぬのが、絶対に看過し
ては存らぬと思う。

現地の想: 四島返還に力を貸して欲しい。1人でも多くの日本人に現地の視察に来て
欲しいという強い要望がありました。

網走市岬から肉眼でも3.7kmのすぐ近くには貝殻島と岬との中間島1.8kmを
越えて樺太と銃撃や拿捕の危険にさらされている。そこでも生活の各に
身を投じていると「残念」。1日も早い返還実現を望みたい。……
私も心の底より日本国の名において早期解決を望みその運動に力加わ
らうと思う。

24年8月7日(火)

視察先: 釧路市

目的: 生活保護自立支援策について

現地説明者: 釧路市生活福祉事務所 早川 誠一氏 他

感想: 漁業と観光以外にあって産業も乏しく。人口18万人余の内約1万人

おおよそ18人に1人が生活保護を受給している創路市の最大の課題は生活保護受給者の社会復帰に於いて自立をいかに実現するのにかつた。
日本で最も先進的取り組みをしているとあって、自立支援の為に25種類に及ぶプログラムを作成実践し、特に就業体験的ボランティア事業プログラム(介護施設ボランティア事業地)や就業体験プログラム(農業体験プログラム)により多大の成果をみている。

何れも生活保護受給者を特別枠で囲むことなく、プログラム体験中の姿は市民に実名写真入りで公開され、自立のためのサポート体制を市民全体が共有している姿は驚きであり、これだけに創路市の本気度を感じた。

実施機関である創路市を中心に支援策検討の中心者評由機関・ワーキンググループと支援事業受託事業所の存在、これは創路公立大学の調査研究命折と相まって、本市自立支援モデル事業の成果を上げているが、倉庫も大いに見習うべきと感じた。

24年8月8日(水)

視察先 : 帯広市
目的 : 観光交流拠点施設「とがさぶら」の運営策と倉庫市の応用について
現地説明者 : 帯広市 観光課 加藤 幸氏 他

感想 : 北海道遺産に指定されている「ばんえい競馬」場敷地内に観光交流施設として整備された「とがさぶら」では毎年多肉入込客数も亦瓦と同等の35万人位である。

食料自給率100%の十勝の農産物の産直市場(満茶館内)と

十勝産品を材料としたカネ、物販ゾーン、それに飲食ゾーンの3ゾーンで構成
 されているが冬期、平日、夜間の営業に苦勞しておられる。
 今一番力を入れているのは帯広市の人口17万人の地元民をいかに引き寄せよう
 が知恵を絞っており、釧路市赤瓦周辺も同じ検討を要すると感じた。

赤瓦周辺に飲食施設(大.小) 産直市場の充実には非効率的を要し
 新 地元で愛される施設 店舗作りが大前提である。
 時間調整やトイレ休憩の上乗りの観望が無く 滞留時間と回遊性を
 心にとめて工夫がなければお金け考としておられない。